

生徒も先生も同じ山を目指して

～平成18年度登別市不登校・いじめ等対策会議第2回教職員研修会～

11月22日(木)、市民会館で『平成18年度登別市不登校・いじめ等対策会議第2回教職員研修会』（市主催）が、市内の小・中学校の先生を対象に開かれました。

この日は、学校カウンセラーの経験のある金山健一さん（函館大学商学部専任講師）を講師に迎え、『いじめを許すな！～明日からすぐ使えるいじめの対処方法～』と題して進められました。

金山さんは「いじめは、進学したり、クラス替えがあったりなど、環境の変化により自分をうまく表現できない時期に発生しやすく、季節では春が多くなります」と説明。いじめは自分より弱いものに対して行っていると事例を交えながら話していました。

また、「いじめを防ぐには、生徒と先生が同じ山を目指し、生徒への支援体制をしっかりとつくり、子どもの表情や言葉遣いの変化、服装の乱れ、友だち関係の変化など、いじめのサインを察知する能力を高めましょう」と具体的な予防についての取り組みや対処方法についても話していました。



自作のしめ飾りで新年を迎えます

～正月しめ飾りづくり体験～



12月9日(土)、文化伝承館で『正月しめ飾りづくり体験』（市主催）が行われ、参加者32人が自作のしめ飾りづくりに挑戦しました。

しめ飾りは、釧山町で採ってきたスゲやふれあい農園で育てられた稲穂などを利用し、郷土資料館ボランティアグループ『SLG』の指導で、スゲをねじりながら編み合わせてしめ飾りの土台をつくり、稲穂などの飾りを付けてしめ飾りを完成させていました。

夫婦で参加した方は、「こつを覚えたので、あと2回くらいで、納得できるものができると思います。しめ飾りは毎年買っていましたが、今回はこのしめ飾りで新年を迎えます」と楽しそうに話してくれました。

あなたも卒煙しませんか

～禁煙講演会～

11月30日(木)、市役所で『禁煙講演会』（市主催）が行われ、禁煙治療を受ける方と禁煙に関心のある方24人が参加しました。

市が平成16年に実施したアンケートでは、市民の喫煙率は男性51.8%、女性19.8%なのに対し、全国平均では男性43.3%、女性12.0%で、市民の喫煙率の方が全国平均より高い水準となっています。

講演会は、『卒煙しませんか』と題して行われ、講師の開田博之さん（開田医院）は、「禁煙することにより、肺がんや心臓病で死亡する確率が下がります」と禁煙による効果などを説明していました。

禁煙治療を受ける64歳の女性は、「35年間喫煙しています。禁煙したいと思う気持ちがあったのでこれを契機にがんばって禁煙します」と意気込みを話してくれました。

